

観血的検査・治療時の抗血栓薬継続・休薬一覧No.1

※ 手術における抗血栓薬の休薬については、事前に処方医と相談して慎重に対応する

※ 内視鏡における抗血栓薬の事前休薬または継続の判断は ①処方医と相談、相談不可の場合は ②『休薬による血栓塞栓症発症の高危険群』に基づいて判断

※ 患者が休薬可能な病態(血栓症発症の低危険)であれば、従来通り休薬する

A表

令和4年6月30日

商品名(一般名)	治療および手術における休薬期間				内視鏡検査・処置における休薬期間																						
	歯科治療	手術部			『休薬による血栓塞栓症の発症ハイリスク群』と内視鏡における対応方法	休薬可能な病態:A表	内視鏡室																				
		眼科治療	体表手術	*大手術			出血・血栓塞栓症の高危険群																				
						B表(生検)	C表(治療処置)																				
ワーファリン	ワルファリン	継続 INR3.0以下	継続	予そ術後 定れ出 し以出 て外血 いのが る手起 術こ 合、つ はおた よ場 手び合 術脊の に髓対 進く処 じもが る膜容 下易 麻な 酔場 ・合 硬み 膜外 繼統 酔を	3~5日 へパリン置換	●内視鏡検査・生検の場合 B表 服用を継続し、ワーファリンについては検査前にINR3.0以下であることを確認してから実施可能 ●観血的治療・処置の場合 C表	継続し 当日INR3.0以下 で可能	・継続し当日INR3.0以下で可能 ・一時的にDOACへ変更し当日休薬して可能 ・3~5日へパリン置換して可能																			
プラザキサ	ダビガトラン	継続			2~4日 (腎機能により考慮) へパリン置換考慮			●内視鏡検査・生検の場合 B表 服用を継続し、ワーファリンについては検査前にINR3.0以下であることを確認してから実施可能 ●観血的治療・処置の場合 C表	継続で可能 ※但しできれば 内服は 内視鏡後に	・当日休薬して可能 ・へパリン置換して可能																	
イグザレルト	リバーロキサバン				1~2日 (腎機能により考慮) へパリン置換考慮						●内視鏡検査・生検の場合 B表 服用を継続し、ワーファリンについては検査前にINR3.0以下であることを確認してから実施可能 ●観血的治療・処置の場合 C表	継続で可能 ※但しできれば 内服は 内視鏡後に	・当日休薬して可能 ・へパリン置換して可能														
エリキュース	アピキサバン													●内視鏡検査・生検の場合 B表 服用を継続し、ワーファリンについては検査前にINR3.0以下であることを確認してから実施可能 ●観血的治療・処置の場合 C表	継続で可能 ※但しできれば 内服は 内視鏡後に	・当日休薬して可能 ・へパリン置換して可能											
リクシアナ	エドキサバン																●内視鏡検査・生検の場合 B表 服用を継続し、ワーファリンについては検査前にINR3.0以下であることを確認してから実施可能 ●観血的治療・処置の場合 C表	継続で可能 ※但しできれば 内服は 内視鏡後に	・当日休薬して可能 ・へパリン置換して可能								
バイアスピリン バファリン タケルダ配合錠 キャブピリン配合錠	アスピリン	継続	継続	7日	●内視鏡検査・生検の場合 B表 服用を継続し、ワーファリンについては検査前にINR3.0以下であることを確認してから実施可能 ●観血的治療・処置の場合 C表	継続し 当日INR3.0以下 で可能	継続で可能	・継続し当日INR3.0以下で可能 ・一時的にDOACへ変更し当日休薬して可能 ・3~5日へパリン置換して可能																			
パナルジン	チクロピジン			7~14日					●内視鏡検査・生検の場合 B表 服用を継続し、ワーファリンについては検査前にINR3.0以下であることを確認してから実施可能 ●観血的治療・処置の場合 C表	継続で可能	・当日休薬して可能 ・へパリン置換して可能																
プラビックス コンプラビン配合錠	クロピド グレル											5日	●内視鏡検査・生検の場合 B表 服用を継続し、ワーファリンについては検査前にINR3.0以下であることを確認してから実施可能 ●観血的治療・処置の場合 C表	継続で可能	・当日休薬して可能 ・へパリン置換して可能												
エフィエント	プラスグレル															3日	●内視鏡検査・生検の場合 B表 服用を継続し、ワーファリンについては検査前にINR3.0以下であることを確認してから実施可能 ●観血的治療・処置の場合 C表	継続で可能	・当日休薬して可能 ・へパリン置換して可能								
ブリリント	チカグレロル																			1日	●内視鏡検査・生検の場合 B表 服用を継続し、ワーファリンについては検査前にINR3.0以下であることを確認してから実施可能 ●観血的治療・処置の場合 C表	継続で可能	・当日休薬して可能 ・へパリン置換して可能				
プレタール	シロスタ ゾール																							継続	●内視鏡検査・生検の場合 B表 服用を継続し、ワーファリンについては検査前にINR3.0以下であることを確認してから実施可能 ●観血的治療・処置の場合 C表	継続で可能	・当日休薬して可能 ・へパリン置換して可能
アンブラーグ	サルボグレラート																										

*大手術・・・出血リスクが高い手術等

観血的検査・治療時の抗血栓薬継続・休薬一覧NO.2

令和4年6月30日

	商品名(一般名)		手術における休薬期間			内視鏡検査	
			体表手術	大手術		通常検査(含生検)	治療処置
血管 拡張薬	プロレナール	リマプロストアルファデクス	そ合術 れの後 以み出 外継血 は続が は起こ った場 合の対 処が容 易な場 合	1日	脊髄くも膜下麻酔 硬膜外麻酔を 受ける場合を含む	継続で可能	当日休薬して 可能
	オパルモン						
	ドルナー、プロサイリン	ベラプロストナトリウム					
	ケアロードLA、ベラススLA						
拡冠 張血管	ペルサンチン	ジピリダモール		2日			
	コメリアンコーワ	ジラゼブ塩酸塩					
	ロコルナール	トラピジル					
代謝 改善薬 ・ 脳 循環	ケタス	イブジラスト		3日			
	セロクラール	イフェンプロジル 酒石酸塩		2日			
	サアミオン	ニセルゴリン					
血症 高脂	エパデール	イコサペント酸エチル	脊髄くも膜下麻酔 硬膜外麻酔を 受ける場合のみ 7~10日	継続で可能	当日休薬して 可能		
	ロトリガ	オメガ・3脂肪酸エチル (EPA・DHA)					

* サプリメントは全て7~10日間中止する(抗血栓薬と同様の成分が含まれている場合がある為)
再開は主治医の指示とする

女性ホルモン系薬剤の手術前・手術後の休薬

分類	商品名	術前・術後の休薬の目安 添付文書			
卵胞ホルモン・黄体ホルモン配合剤	低用量OC シンフェーズT28 アンジュ21,28 トリキュラー21,28 ラベルフィーユ21,28 マーベロン21,28 ファボワール21,28	禁忌:手術前4週以内、術後2週以内			
			ヤーズ(フレックス)配合 ルナベル配合錠LD・ULD フリウェル配合錠LD,ULD ジェミーナ配合錠		
				プラノバル配合錠	やむを得ず手術が必要と判断される場合には、血栓症の予防に十分配慮(休薬期間記載なし)
				メノエイドコンビパッチ	
				ウェールナラ配合錠	
			卵胞ホルモン	エストラーナテープ	注意:術前又は長期臥床状態の患者(休薬期間記載なし)
	ル・エストロジェル0.06%				
	ジュリナ錠				
	ディビゲル	注意:手術前4週以内又は長期臥床状態の患者			
	ホーリン錠				
エストリール錠					
プレマリン錠					
黄体ホルモン	デュファストン錠	記載なし			
	ノアルテン錠				
	プロベラ錠2.5mg				
	メドロキシプロゲステロン錠2.5mg				
	ルトラール錠				
	クロルマジノン酢酸エステル錠				
	ヒスロン錠5mg				
	メドロキシプロゲステロン錠5mg				
	ヒスロンH錠200mg	禁忌:手術後1週以内、注意:手術後1ヶ月以内			
メドロキシプロゲステロン錠200mg					
その他	レルミナ錠	記載なし			
	ディナゲスト錠				
	ボンゾール錠	血栓症を引き起こすおそれがあるので、観察を十分に行いながら慎重に投与すること(手術に関する記載なし)			

糖尿病薬の手術前・術後の休薬

1. ビグアナイド薬(商品名は表参照)

- (1) 局所麻酔下での手術
 - ・絶食の場合、手術当日は休薬する。
- (2) 全身麻酔下での手術
 - ・原則として、手術の2日前から休薬する。休薬の際は、インスリンスライディングスケールなどで対応する。血糖高値となる場合は、適宜内分泌・代謝内科に相談する。

*術後のビグアナイドの再開時期

- ・術後2日以上経過し、循環動態が安定し、経口摂取も良好であることを内服再開の判断目安とする。

2. SGLT2阻害薬(商品名は表参照)

- (1) 局所麻酔下での手術
 - ・絶食の場合、手術当日は休薬する。
- (2) 全身麻酔下での手術
 - ・原則として、手術の3日前から休薬する。休薬の際は、インスリンスライディングスケールなどで対応する。
 - ・術後経過が良好で、循環動態が経口摂取が安定していることを確認し、内服を再開する。

3. その他の糖尿病薬

- (1) 絶食時は休薬する。

*その他、糖尿病薬の中止・再開の判断に迷う場合、適宜内分泌・代謝内科に相談する。

薬効	一般名	代表薬剤
ビグアナイド薬類及び	メトホルミン	メトホルミン塩酸塩錠
		メトグルコ錠
		グリコラン錠
		イニシク配合錠
		エクメット配合錠
		メタクト配合錠
		メアナ配合錠
	ブホルミン	ジベトス錠
		ブホルミン塩酸塩腸溶錠
SGLT2阻害薬	カナグリフロジン	カナグル錠
	エンパグリフロジン	ジャディアンス錠
	イブラグリフロジン	スーグラ錠
	ダパグリフロジン	フォシーガ錠
	トホグリフロジン	デベルザ錠
		アプルウェイ錠
	ルセオグリフロジン	ルセファイ錠
	カナグリフロジン	カナリア配合錠
	エンパグリフロジン	トラディアンス配合錠AP/BP
	イブラグリフロジン	スージャヌ配合錠

SGLT2阻害薬を糖尿病以外で使用している場合は主治医とご相談ください